



みんな 輪になって

ユニークな種目盛り沢山 凧あり長靴あり 一時又分館二連覇

早朝のしらせの打ち上げ花火、伝統ともなって来た小学生による「聖火リレー」運動会の気運も高まり、いよいよ開会式。今年は、地区内八企業の寄付によるラッキーキーへの興味もあり、千円相当のスポーツドックと/or/準備体操の後いよいよ熱戦の火ぶたが切られた。今年は、新しい種目や中味にひと工夫、趣向をこらした種目もあり、新鮮さが



所行丘公民館
市編集広報委員会
竜丘公民館印刷株式会社
上郷町黒田22-5353

人	6,013	人	人
男	2,876	子	人
女	3,137	子	人
世帯数	1,648	戸	(11月末 現在)

恒例の竜丘地区市民運動会が、十一月二日、秋晴れの小学校グランで地区民多数の参加のもと盛大に行なわれた。



一般十九種目、分館対抗十二種目に熱戦が繰り広げられた。分館対抗では、時又分館が午前の六種目中四種目に一位、最下位の種目など、万遍なく得点を重ね、二位以下に大差をつけ、見事に総合で二連覇を飾った。

感られた。なかでも午前の「たこあげ競争」では、メインはコンパネ製の凧。各分館の体育部の方々の苦心の賜、いずれ劣らぬ力ぞろいで、勝負の行方のみならず応援席の目も楽しませてくれた。午後の「バラエティリレー」では大人の長靴を履き、重そうに走る子

の参加が少なく寂しい気がしました。選ばれて参加する分館対抗種目だけでなく、一般種目へも積極的に参加してもらいたいものです。

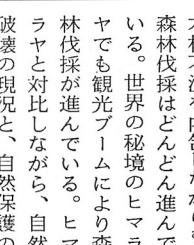
◇

「年次リレー」では、各分館とも総立ちの応援。今年は、ここまで、同点三位に分館が並ぶ大接戦。応援合戦にもいつそう熱が入りま



「年次リレー」では、各分館とも総立ちの応援。今年は、ここまで、同点三位に分館が並ぶ大接戦。応援合

戦にもいつそう熱が入りました。春には、今年度の公民館が、これまで、同点三位に分館が並ぶ大接戦。応援合



戦にもいつそう熱が入りました。春には、今年度の公民館が、これまで、同点三位に分館が並ぶ大接戦。応援合

戦にもいつそう熱が入りました。春には、今年度の公民館が、これまで、同点三位に分館が並ぶ大接戦。応援合

戦にもいつそう熱が入りました。春には、今年度の公民館が、これまで、同点三位に分館が並ぶ大接戦。応援合

戦にもいつそう熱が入りました。春には、今年度の公民館が、これまで、同点三位に分館が並ぶ大接戦。応援合

牛乳パック再利用

議会の今年度事業として、婦人団体連絡協議会の牛乳パック回収は三ヶ月に一度行われました。下記の結果表を見て分かるとおり、婦人団体連絡協議会の方々

の理解も高まってきて、二回目は一回目の二倍となっています。

今、手作りハガキなどで話題を呼んでいる牛乳パックには、良質なパルプ材が使用されていて、飲み残えでゴミ箱に投げ入れないで再利用することによって、その分、森林を伐採せず

年に済むので、森林資源を守り、自然保護につながります。

この理解も高まってきて、二回目は一回目の二倍となっています。

今、手作りハガキなどで話題を呼んでいる牛乳パックには、良質なパルプ材が使用されていて、飲み残えでゴミ箱に投げ入れないで再利用することによって、その分、森林を伐採せず

年に済むので、森林資源を守り、自然保護につながります。

評価された分館活動

牛乳パック回収状況(単位 kg)			
地区	1回目	2回目	計
駄科	1.8	2.4	4.2
長野原	2.8	4.7	7.5
時又	3.6	6.8	10.4
桐林	1.3	4.3	5.6
上川路	1.0	2.4	3.4
計	10.5	20.6	31.1

去る、九月七日飯田市民館を会場に四百余名が参集して、第二十四回飯田市民館大会が開催された。

「私にとっての公民館活動」と題して、長野原分館長の伊藤陽治さんが、「長野原と大井川」を出版して地域の実践発表を行った。地域

二二名が社会教育功労者と動であるとの評価を得た。

この大会の席上、長年の社会教育の活動に対して、

二二名が社会教育功労者と

活動であるとの評価を得た。

この大会の席上、長年の社会教育の活動に対して、

二二名が社会教育功労者と活動であるとの評価を得た。

この大会の席上、長年の社会教育の活動に対して、

二二名が社会教育功効者と活動であるとの評価を得た。

この大会の席上、長年の社会教育の活動に対して、

私の提言

飯田市未来四十人会議は一番大切にしなければならない市民の生活要求などの現実問題を取り上げず、未 来を語る誤りを行ないました。竜丘自治会が窓口となり本化されようとしています。この窓口方式は市の理事者には都合良く地区民には不都合です。例えば先年の竜丘公民館建設は、地区民各層

でもフォーラムが始まりましたが、前車の轍を踏まぬようお願いします。さて私達地区民の要求は始めましたが、前車の轍を踏まぬようお願いします。

い公館となってしまいました。竜丘小体育館も同様です。講堂が立派であっただけに残念です。ところで地域作り・人作

地域の発展は人作りから



時又大見新



懐かしの「夜なべ展」

去る十一月八・九日の土日に竜丘小学校において、竜丘地区文化祭が開催されました。両日は、秋晴れに恵まれ、人出も好調で文化の秋にふさわしい地区祭典となりました。展示では従来の分

館コーナーを今回より「私的作品展示コーナー」として広く地区内から作品を求めました。書・人形・ひようたんなど出品されました。書・人形・ひようたんなど地区の皆さんが日頃の成果といえる立派な作品でした。

その他に、団体として婦人会の手づくり石鹼のPR、郵便局による出張郵便局などが行なわれました。また、竜丘・時又両保育園の園児や明星学園の園生の作品が並べられ、廊下には小学生の絵画・書道の作品が飾られていました。

民族資料保存委員会の出展として「夜なべの唄」ということで、昔いろいろと聞いた頃の民具・縄ない機械などが展示され、昔を知る人はきっと懷かしく思われた事と思います。

さらに、あまり人目に付かない所でしたが、自由画展として、自由画教育による竜丘小学校の生徒の作品が展示され、当時お手本を真似て上手に模写することが良しとされた時代に、自分の見たとおり、思つたとおり描いた作品を見て表現の素晴らしさを感じました。

去る十一月七・九日に、竜丘青年会桐林支会では、東京の日本青年館で行なわれた全国青年大会へ、長野県代表として人形劇の部へ参加してきました。

昨年十二月の長野県青年文化祭より約一年の間、県代表としてのプレッシャーや緊張感の持続は大変なものと感じました。そこで、当日の発表もやや堅く

あの感動を一度



全国大会・初挑戦

正念場に来たゴミ焼却場年明けには着工か



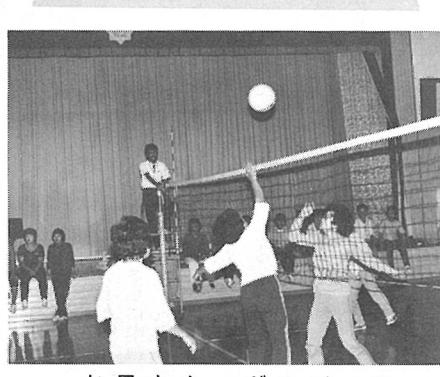
今田人形に拍手かっさい

敬老会開催さる

十月十日体育の日、恒例の竜丘地区敬老会が小学校を会場に開催された。対象者は、満七十歳以上の年寄りで六百三十四人。八十歳のお祝いを受けられた方は、三十六名でした。今年は、お年寄りの皆さんの希望で今田人形の観劇。演目は、おめでたい。「三番叟」、淨瑠璃「阿波の鳴門」の人形芝居。いたいけ

な巡礼お鶴の母を捲す姿に、少しお酒も入り、なごやかに秋の一日を過ごされました。来年の再会を約束し終了しました。

ミニバレーで交流



お母さん ガンバッテ

日頃の運動不足の解消、スポーツを通じての触れ合い。

竜丘地区婦人団体連絡協議会では、十月二日竜丘小学校体育館でミニソフトバレーボール大会を開催しました。屋間の仕事に疲れているなか、百五十名余の参加者が体育館は熱気に包まれました。参加チームは十二チーム、青年会・婦人会・日赤・農協婦人部・生活改善

会向け準備を進めている。施設組合の計画だと、市営墓地公園の南側山林一・七haを造成し、一日百二十トンの処理能力のある流動床炉を建設する予定で、総事業費は二十六億四千七百万円(内三分の一は国と県の補助)受け入れる際の最も障害となつた公害問題も、国と地元の協力によって解決が進められている。

去る九月二十日には、桐林区並びに対策委員会より設置場所・公害防止・運動公園・道路改良、医療施設・衛生施設組合と市長宛に提出され、十月二十五日には各要望について「すぐ出来るものと出来ないものがあるが、前向きに検討する」旨回答がされた。又、建設用地やそれに伴う道路用地等の買収価格も示され、桐林各常会や対策委員会から要望事項に対し、再度回答がされた事により、まだ細部の協議は残されているものの、年末には地元桐林区と飯田市並びに飯田衛生施設組合との間で建設着工の合意がされる予定である。又、去る十月二十八日に開かれた飯田衛生施設組合の臨時議会では、ゴミ焼却場の移転新築に伴う初年度の事業費三億六千九百万円の補正予算を計上し、本年度着工、六十四年度完成に

対策とは別と言われてきたが、現在はすべて焼却場ぐるみ、行政サイドで進められている。又、十六項目にわたる要望も、実施年度こそ示されてはいるものの市

の年間土木費が約三十六億円という中で、総額三十億円とも言われる財源の問題や要望のほとんどが地元の協力(土地の提供、地元負担等)が得られるべきといふものであり、絵に書いた餅にさせない地元の意志統一、協力体制をつくらなければならぬ。

しかし一年余りにわたりもめて來たゴミ焼却場の問題も、要望に対する市側の回答は出たものの、用地買収等これから具体的な課題が残されており、問題はこれまでの経験を糧に、皆で話し合いながら、進んで行こうとしています。

最後に、この度の全国青年大会参加の中、地域の形劇団ボテトは、ようやく誕生したばかりです。今後参

加してほしい。

この度の全国青年大会へ参

加した経験は、多くの教訓と貴重な「モノ」を残

たのではないでしょうか。

この度の全国青年大会へ参